

つたえる地域 つながる地域

英語力 どのくらい?

初のフィリピン研修控え光星高生

現地教員とネット対話

八戸学院光星高(小野崎龍一校長)は24日、11月に2年生約40人が参加するフィリピンでの語学研修に向け、生徒と現地教員がオンラインで対話をする事前学習を同校で行い、生徒が海外研修への意欲を高めた。
(中山瑞希)



オンラインで現地の教員と通話をする生徒

同校のフィリピンでの海外語学研修は初めて。回国にある学校法人光星学院と提携する語学学校「CNE1」に1週間滞在する。教員とのマンツーマン授業(1こま90分)を1日に2こま行い、英語力向上を図るほか、現地視察などを通し、貧困など世界的問題への意識を高める。

今回は、同校が本年度から環境整備を進める情報通信技術(ICT)を活用し、CNE1の教員とオンラインで30分間通話。生徒は現地での学習内容レベルを決めるためのスピーキングテストを受け、自身の英語力を確認していた。

榎本大輝さん(17)は「相手の言葉が聞き取れなかった。理解力もまだまだ足りない」と自身のレベルを実感した様子。長澤駿太さん(17)は「分からない部分もあったが、会話できて楽しかった。もっと単語や文法を勉強しなければ」と今後の勉強への意欲を話した。